

## 宮城学院中学校高等学校 3.11 追悼礼拝～講話と対談

講師：鈴木結生（すずき・ゆうい）氏

（芥川賞作家・西南学院大学大学院生）

～震災の経験からのメッセージ “生きるということ” （仮称）～

本校では2011年3月11日に発生した「東日本大震災」を覚えて、毎年「3.11 追悼礼拝」を行っています。震災の記憶を継承し、防災意識を高めるとともに、命の尊さを心に刻むときとしています。

今年度は、2025年第172回芥川賞を受賞し（「ゲートはすべてを言った」〈朝日新聞出版〉）、現在、西南学院大学大学院修士課程で英文学を研究しておられる、鈴木結生さんをお招きします。

礼拝後にご講演いただくとともに、対談の機会を設けます。震災後、ご自身も被災地支援活動をなさった際に、キリスト教会の牧師であるお父様と活動の中心を担っておられた金丸真（かなまる・まこと）牧師との対談を通して、鈴木さんが現在に至るまでにどのような心の変遷を辿りながら生きるということに向き合ってきたかをおうかがいし、本校生徒のみならず聴講するすべての人が自分自身の在り方・生き方を振り返るひとときとしたいと考えています。

### — 開催概要（予定） —

- 日程 2026年3月11日（水）
  - ①8:40- 8:55 礼拝（本校宗教主事）
  - ②9:00- 9:45 講話（鈴木結生氏）
  - ③9:55-10:45 対談（鈴木結生氏と金丸真牧師〈仙台長命ヶ丘キリスト教会牧師〉）

- 場所 宮城学院中学校高等学校 講堂

- 対象 本校生徒・保護者・教職員、宮城学院女子大学学生・教職員

- お問い合わせ 宮城学院中学校高等学校 宗教主事 大久保 直樹  
TEL：022-279-1331 Email：okubo@mgu.ac.jp

以上